



『東北圏だより』

「輝女会」で岩手の魅力発信！

岩手県

岩手県では、女性の視点で魅力を感じる旅の提案などを行う『輝女（キラじょ）をいやす、いわて旅』の会（通称、輝女会）を結成しました。

4月20日には、岩手県庁において、岩手県出身のタレントで輝女会のメンバーである福田萌さん、達増岩手県知事などの出席のもと、結成発表会と第1回輝女会が行われ、「あまちゃん」で有名になった三陸鉄道を活用した女性向けのプランなど、岩手ならではの体験プログラムや女性向けの新たな旅の魅力になりうる素材などについて意見交換が行われました。

【輝女って何？】

「輝女」とは、仕事や家庭の日々を自分らしく生きている現代の女性を表したもので、「キラキラ輝いている女性」を意味しています。

輝女会は、そのような輝く女性達に岩手を旅してもらうことでワンランク上のいやしを提供できるよう、女性の視点で観光資源の発掘と旅の企画に取り組むこととしており、福田萌さんのほか、旅行業界の方や県の観光・広報などの担当部局の女性職員の合計11名で構成されています。

【輝女会の目指す方向】

女性に関しては、「交際費の支出が多く消費性向が高い」、「複数人で旅行する傾向がある」、「家庭における購入決定権は妻が持つ割合が高い」などの調査結果があります。この企画は、このように高い行動力や情報発信力を持つ女性に、女性の視点からの岩手の旅の提案をしようとするものです。

女性が好む旅は、「日々の疲れを癒したい」ととどまらず、「ワンランク上の非日常」、「女子力を高める女性ならではのもの・ことの体験」と言われています。こうした観点から、体験や学びの要素を含め、都会にはない岩手ならではの「ワンランク上のいやし」を提供したいと考えています。

輝女会での検討やメンバーが取材・交渉などで奮闘する様子については、今後 Facebook（※）などで発信するほか、輝女会の提案をもとに旅行商品の造成に結び付け、女性旅行誌など様々な媒体で発信していくこととしており、更に「岩手の魅力」を発信する首都圏でのイベントも企画していきたいと考えています。

女性の力を活用し、また、地元の魅力を再認識しながら広く内外に発信していくことは、地域の魅力の向上、交流人口の拡大にも結びつき、地方創生を推し進めていく上でも重要な取組であると考えています。構成団体の皆様方にも、ぜひ今後の活動についてフォローいただきたくお願いいたします。

※ www.facebook.com/kirajokai



▲輝女会メンバーと達増知事



▲意見交換の様子



東日本大震災の被災から復興までの実像を伝えるとともに、東北地方全体の賑わいを取り戻しさらなる活性化を図ることを目的として、防災、環境、インフラの情報に加えて、観光・商業関係のさまざまな情報を発信するスマートフォンアプリ「ガイド東北」を東北に関係する主な機関が共同で、平成26年10月から制作を進めてきました。

制作にあたっては、ガイド東北の主旨に賛同していただける方を「パートナー」として、分野問わず企業・団体・個人から募集し、平成27年5月29日時点で、コンテンツ系パートナーは241団体（個人含む）から登録があり、3,700件以上のコンテンツが寄せられました。

制作系パートナーは、アプリ開発、コンテンツ編集・監修、翻訳等の分野で応募のあった企業・団体・個人の中から「ガイド東北」制作委員会で選定され、パートナーの協力を得てアプリ制作は進められました。

「ガイド東北」は、仙台市で開催された国連防災世界会議に合わせて平成27年3月14日から公開されていますので、ぜひアプリをダウンロードして使ってみてください。

アプリは、今後、特に若い世代への情報発信ツールとして期待されます。「ガイド東北」は、国連防災世界会議以降も国内外の東北訪問者に利用されるメジャーなアプリを目指し、今後も引き続きパートナーの募集、機能の追加やコンテンツの拡充を進めていきます。

「ガイド東北」の画面



コンテンツカテゴリー毎に地図上にピンが表示されます。

地図を拡大し、見たいコンテンツのピンをタッチ！

コンテンツ画面が表示され、役立つ情報をゲット！



編集後記

先月は、晴天の日が多く、気温が高い日が続きましたが、体調管理は万全でしょうか。これから梅雨の時期に入り、災害等の発生リスクも増してきますので、各構成機関におかれては、情報収集に努め、万全の体制で乗り切ってください。

話しは変わりまして、今月から広域地方計画の改定に関して、各構成機関の皆様には様々な依頼をさせていただくかと思っておりますので、ご協力方よろしくお願いたします。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp